

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191200080		
法人名	九州メディカル・サービス株式会社		
事業所名	グループホーム安心いちたけ		
所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字市武1234番地		
自己評価作成日	平成27年3月2日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.espa-shiencenter.org/preflist.html
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成27年3月23日	外部評価確定日	平成27年4月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着型サービス事業所として、近隣の保育園や幼稚園の園児並びに、小学校の学生にご訪問いただき、唄や踊りを披露していただく等、地域との交流を図っている。また、当事業所の利便性を活かして、入居者様と一緒に図書館へ本や紙芝居等を借りに行ったり、食事作りやおやつ作り等のレク活動を実施し、事業所独自の自立支援活動にも職員全体で取り組んでいる。さらには、協力医療機関及び訪問看護ステーションとの医療連携により、入居者様の健康管理を行い、入居者様ご本人並びに、ご家族様が安心して生活することができるよう支援を行っている。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

法人には、グループホームが4事業所ある。この中の一つ「グループホーム安心いちたけ」は、平成18年にみやき町の南部に位置する三根地区に開設されている。事業所は、昔ながらの住宅と新興住宅地が混在する中にあり、隣には神社や公園があるため、道路沿いでも静かな環境である。職員は、天気がいい日の利用者が希望する時間に、神社の参拝や広い敷地での散歩を行い、利用者がこれまで過ごしてきた地域への思いが感じられるような支援がなされている。また、「入居者様の望まないことはしない」が理念の一環でもあることから、これまでの生活習慣を大事にし、利用者の生活のペースに合わせて一日の時間が流れている。入居者一人ひとりと向き合い、気持ちを受け止め、寄り添うことで信頼関係を構築したいとの思いがあり、職員一丸となり頑張っているホームである。

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)＋(Enterキー)です。〕

自己 外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
		実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当法人の事業目的及び運営方針の他、事業所独自の理念を掲示し、毎日の朝礼時に唱和を行い、職員間の意識統一及び意識向上を図っている。	当法人の事業目的及び運営方針の他、事業所独自の理念を掲示し、毎日の朝礼時に唱和を行い、職員間の意識統一及び意識向上を図っている。	法人理念を基に職員全員で、考え作成された理念は、事務所内に掲示され、毎日の朝礼時に職員全員で唱和を行い、利用者との日々の関わりの中で実践につなげている。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の保育園や幼稚園の園児または、小学校の学生にご訪問いただき、唄や踊りを披露していただいたり、夏祭りや消防訓練実施の際は、地域住民の方々にもご参加いただいている。また、近隣の公園へ散歩に出掛けたり、図書館へ本や紙芝居を借りに行く等、地域の資源を活用している。	近隣の保育園や幼稚園の園児または、小学校の学生にご訪問いただき、唄や踊りを披露していただいたり、夏祭りや消防訓練実施の際は、地域住民の方々にもご参加いただいている。また、近隣の公園へ散歩に出掛けたり、図書館へ本や紙芝居を借りに行く等、地域の資源を活用している。	地域の自治会に加入している。職員は、事業所の隣にある神社の清掃も行なっている。また、地区の行事の夏祭りなどにも参加し、地域とのつながりを深めている。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の際に、地域の方々へ入居者様への支援の方法や取り組み内容の報告を行うと共に、地域の方々からの相談があれば随時、支援の方法等のアドバイスをを行っている。	運営推進会議の際に、地域の方々へ入居者様への支援の方法や取り組み内容の報告を行うと共に、地域の方々からの相談があれば随時、支援の方法等のアドバイスをを行っている。	
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、入居者様の状況や行事計画及び報告を行っている。参加者よりご意見やご要望があれば改善するよう努めている。	運営推進会議では、入居者様の状況や行事計画及び報告を行っている。参加者よりご意見やご要望があれば改善するよう努めている。	運営推進会議は第4金曜日を開催日と決め、年6回開催されている。入居者の状況や行事等の計画や報告に終わるのではなく、質疑なども出され議事録もきちんと記載されている。地域の代表者や家族の参加が少ない。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域ケア会議や地域包括支援ネットワーク会議、ケアマネネットワーク会議等に積極的に参加したり随時、電話や訪問にて相談・助言を仰ぎ、協力関係の構築に取り組んでいる。	地域ケア会議や地域包括支援ネットワーク会議、ケアマネネットワーク会議等に積極的に参加したり随時、電話や訪問にて相談・助言を仰ぎ、協力関係の構築に取り組んでいる。	包括支援センターとは運営推進会議などの出席もあり、情報や課題を共有している。鳥栖市で行なわれる自立支援会議で事例発表を行なう際は、アドバイスや意見を頂き協力関係が築かれている。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会やカンファレンス等を通じて、身体拘束を行わないケアの方法を職員間で検討し共有している。ただし、入居者様の生命に危険が生じる場合等は、ご家族様に十分に説明し、同意を得て行う場合もある。	勉強会やカンファレンス等を通じて、身体拘束を行わないケアの方法を職員間で検討し共有している。ただし、入居者様の生命に危険が生じる場合等は、ご家族様に十分に説明し、同意を得て行う場合もある。	身体拘束のない支援のあり方については、研修会を重ね職員の意識も高く拘束はない。玄関の施錠もなく、入居者が自由に出入りが出来る環境を整え、外に出たい入には職員が付き添い対応している。言葉による拘束もないよう支援している。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止に関する研修に参加し、施設内での勉強会を通じて、情報伝達及び情報の共有化を図っている。また随時、管理者より各職員へ日頃の状況等の聞き取りを行い、ストレスマネジメントへの取り組みを行っている。	高齢者虐待防止に関する研修に参加し、施設内での勉強会を通じて、情報伝達及び情報の共有化を図っている。また随時、管理者より各職員へ日頃の状況等の聞き取りを行い、ストレスマネジメントへの取り組みを行っている。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修や地域のネットワーク会議等へ参加し、権利擁護に関する知識を獲得し、必要に応じて制度を活用できるよう支援している。	外部研修や地域のネットワーク会議等へ参加し、権利擁護に関する知識を獲得し、必要に応じて制度を活用できるよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約の締結並びに解約、改定時は、管理者が十分な説明を行い、双方の納得を得た上で契約を行っている。	入居契約の締結並びに解約、改定時は、管理者が十分な説明を行い、双方の納得を得た上で契約を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設内(各階)に要望BOXを設置すると共に、相談窓口の掲示及び説明を行っている。また、夏祭りや敬老会等の行事開催後にはアンケートを収集したり、運営推進会議開催時に聴取したご意見やご要望を、不参加のご家族様へも後日、郵送にてお送りし、ご意見を表出しやすい取り組みを実施している。	施設内(各階)に要望BOXを設置すると共に、相談窓口の掲示及び説明を行っている。また、夏祭りや敬老会等の行事開催後にはアンケートを収集したり、運営推進会議開催時に聴取したご意見やご要望を、不参加のご家族様へも後日、郵送にてお送りし、ご意見を表出しやすい取り組みを実施している。	日頃より利用者や家族が意見を言いやすい関係を築いている。ご家族の訪問時には、利用者の施設内の状況を伝え、意見や要望の聴き取りに努めている。そうして出された要望は、運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のカンファレンス開催時に、各職員の意見や提案を運営に反映できるように取り組んでいる。	毎月のカンファレンス開催時に、各職員の意見や提案を運営に反映できるように取り組んでいる。	2ユニット合同で月1回カンファレンスを行ない、意見や要望を聞く機会を設けている。また、職員間のコミュニケーションはよく取れており、意見を直接言い易い関係を築いている。管理者は、事業所内で解決できない意見や要望等については、法人内の管理者会議で提案し、運営に反映できるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員各自の就業状況を、定期的な面談にて把握し、評価すると共に、働きやすい職場環境並びに働き甲斐のある職場環境作りを目的とした活動を実施している。また、外部研修への参加や資格の取得等、職員が自己研鑽に励める環境作りを行っている。	職員各自の就業状況を、定期的な面談にて把握し、評価すると共に、働きやすい職場環境並びに働き甲斐のある職場環境作りを目的とした活動を実施している。また、外部研修への参加や資格の取得等、職員が自己研鑽に励める環境作りを行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々のケアの実際や力量に合った研修(法人内外)への参加を促すと共に、個人の資格取得を目的とした勉強会を開催し、各職員が自己研鑽に励める環境作りを行っている。	職員個々のケアの実際や力量に合った研修(法人内外)への参加を促すと共に、個人の資格取得を目的とした勉強会を開催し、各職員が自己研鑽に励める環境作りを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のネットワーク会議や外部研修等に参加し、同業者とのネットワーク作りを積極的に行うと共に、法人内の他事業所での勉強会へ相互に参加する等の活動を行うことで、法人全体のサービスの質を向上させる取り組みを実施している。	地域のネットワーク会議や外部研修等に参加し、同業者とのネットワーク作りを積極的に行うと共に、法人内の他事業所での勉強会へ相互に参加する等の活動を行うことで、法人全体のサービスの質を向上させる取り組みを実施している。		

自己 外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
		実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居希望者には、事前に施設を見学していただき、施設的环境や雰囲気等を感じていただくと共に、ご本人様の要望や必要な支援方法を共に検討し、安心してサービスを利用していただけるように説明を行っている。	入居希望者には、事前に施設を見学していただき、施設的环境や雰囲気等を感じていただくと共に、ご本人様の要望や必要な支援方法を共に検討し、安心してサービスを利用していただけるように説明を行っている。	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設見学にお越しのご家族や入居を希望されているご家族に対して、当事業所の契約内容やサービス内容等の説明を行い、これまでの状況及び現在の不安、今後の要望等が無い確認を行い、ご家族との良好な関係づくりに努めている。	施設見学にお越しのご家族や入居を希望されているご家族に対して、当事業所の契約内容やサービス内容等の説明を行い、これまでの状況及び現在の不安、今後の要望等が無い確認を行い、ご家族との良好な関係づくりに努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人及びご家族が必要・希望するサービスが提供できるように、双方の意見を聴取すると共に、施設内のみに留まらず、必要であれば他のサービスを利用しながら、双方が希望・要望するサービスを提供することができるよう説明を行っている。	ご本人及びご家族が必要・希望するサービスが提供できるように、双方の意見を聴取すると共に、施設内のみに留まらず、必要であれば他のサービスを利用しながら、双方が希望・要望するサービスを提供することができるよう説明を行っている。	
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事作りやおやつ作り等のレク活動や家事作業等を通じて、入居者様に教えていただきながら、暮らしを共にする者同士の関係作りに努めている。	食事作りやおやつ作り等のレク活動や家事作業等を通じて、入居者様に教えていただきながら、暮らしを共にする者同士の関係作りに努めている。	
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	夏祭りや敬老会等の行事開催時には、ご家族様をお招きして交流を図ったり、面会時等には、本人様のこれまでの生活状況や環境等の情報収集及び普段の様子等の報告を行い、共に本人様を支えていく関係づくりに努めている。	夏祭りや敬老会等の行事開催時には、ご家族様をお招きして交流を図ったり、面会時等には、本人様のこれまでの生活状況や環境等の情報収集及び普段の様子等の報告を行い、共に本人様を支えていく関係づくりに努めている。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブレクの際には、入居者様各々の馴染みの場所をドライブしたり、施設近くにお住まいの方は近所を散歩したり等、これまでの関係が途切れないように支援している。	ドライブレクの際には、入居者様各々の馴染みの場所をドライブしたり、施設近くにお住まいの方は近所を散歩したり等、これまでの関係が途切れないように支援している。	入居者の希望により、行き付けの美容室を利用されたり、家族様と毎週外食を楽しめることもある。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事作りやおやつ作り等のレク活動を通じて、入居者様同士が関わり合い、支え合える環境作りに努めると共に、入居者様同士の間に職員が介入することで、入居者様が孤立せず、安心した生活を過ごせるように支援している。	食事作りやおやつ作り等のレク活動を通じて、入居者様同士が関わり合い、支え合える環境作りに努めると共に、入居者様同士の間に職員が介入することで、入居者様が孤立せず、安心した生活を過ごせるように支援している。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了(退居)後も施設行事への参加を促したり、定期的にお便りを送付する等、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて相談及び助言等の支援を行っている。	サービス利用終了(退居)後も施設行事への参加を促したり、定期的にお便りを送付する等、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて相談及び助言等の支援を行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的に、入居者様一人ひとりの思いや希望を確認しながら、入居者様の意向に沿った支援を職員間で検討している。	定期的(3ヶ月に1回)に、入居者様一人ひとりの思いや希望を確認しながら、入居者様の意向に沿った支援を職員間で検討している。	入居時のアセスメントなど諸情報だけでなく、日々の関わりの中で、一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。利用者からの把握が困難な場合は、家族の希望を聞き、本人本位に検討し職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス利用開始時には、ご本人様及びご家族様へこれまでの生活歴や馴染みの暮らし方等の情報を聴取し、把握すると共に、サービス利用開始後もこれまでの暮らし方を尊重した支援を提供できるように努めている。	サービス利用開始時には、ご本人様及びご家族様へこれまでの生活歴や馴染みの暮らし方等の情報を聴取し、把握すると共に、サービス利用開始後もこれまでの暮らし方を尊重した支援を提供できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人ひとり、定期的にあセスメントを行い、現状の把握に留意すると共に、日々の心身状態や状況を記録に残し、把握できるように努めている。	入居者様一人ひとり、定期的にあセスメントを行い、現状の把握に留意すると共に、日々の心身状態や状況を記録に残し、把握できるように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議やサービス担当者会議を通じて、本人様並びにご家族様の意向をお聞きし、現状に即した介護計画書の作成に努めている。	ケア会議やサービス担当者会議を通じて、本人様並びにご家族様の意向をお聞きし、現状に即した介護計画書の作成に努めている。	介護計画は、利用者や家族の要望を聞き一人ひとりの意向や課題に応じて具体的に現状に即したものが作成されている。入居者は、職員の担当制となっており、モニタリング、評価や見直しも定期的に行なわれている。担当者会議には家族も参加されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者様各々の日々の様子やケアの実践、結果、気づき等を個人記録及び支援経過記録、申し送りノートに記録し、職員間での情報の共有を行い、介護計画に活用している。	入居者様各々の日々の様子やケアの実践、結果、気づき等を個人記録及び支援経過記録、申し送りノートに記録し、職員間での情報の共有を行い、介護計画に活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様やご家族様の状況や要望に応じて、既存のサービスに捉われない、外部サービスを活用する等、サービスの多機能化に取り組んでいる。	本人様やご家族様の状況や要望に応じて、既存のサービスに捉われない、外部サービスを活用する等、サービスの多機能化に取り組んでいる。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者様との買い物時は近所のスーパーを利用したり、近隣の図書館へ本や紙芝居等を借りに行ったり等、地域の資源を活用し、入居者様一人ひとりが豊かな暮らしを楽しむことができるように支援している。	入居者様との買い物時は近所のスーパーを利用したり、近隣の図書館へ本や紙芝居等を借りに行ったり等、地域の資源を活用し、入居者様一人ひとりが豊かな暮らしを楽しむことができるように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設見学時や契約時等に、入居前からのかかりつけ医の確認を行い、出来る限り継続できるよう支援している。また、協力医療機関による在宅総合診療のご説明を行い、本人様及びご家族様の希望をお聞きした上で、適切な医療を受けられるように支援している。	施設見学時や契約時等に、入居前からのかかりつけ医の確認を行い、出来る限り継続できるよう支援している。また、協力医療機関による在宅総合診療のご説明を行い、本人様及びご家族様の希望をお聞きした上で、適切な医療を受けられるように支援している。	本人、家族が希望する病院での受診を支援している。協力医療機関による在宅診療や訪問看護ステーションによる健康管理も行われ、結果は家族に連絡されている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師による定期訪問時には、入居者様の日々の様子や気づき等を報告すると共に、異常があればすぐに担当医師、訪問看護師に報告し、適切な受診や看護が受けられるよう努めている。	訪問看護師による定期訪問時には、入居者様の日々の様子や気づき等を報告すると共に、異常があればすぐに担当医師、訪問看護師に報告し、適切な受診や看護が受けられるよう努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様が入院した際には、入居者様のADL情報のみならず、性格や普段の様子等、細かな情報を提供している。また、早期退院に向けた情報交換を病院側と密に行い、状況把握に努めている。病院側からの相談を受けることもあり普段から病院側との関係づくりを行っている。	入居者様が入院した際には、入居者様のADL情報のみならず、性格や普段の様子等、細かな情報を提供している。また、早期退院に向けた情報交換を病院側と密に行い、状況把握に努めている。病院側からの相談を受けることもあり普段から病院側との関係づくりを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に重度化や終末期に向けた方針の確認及び説明を行っている。また、入居者様の状態に応じて、ご家族様、主治医との話し合いの場を設け、本人様並びにご家族様の希望される方針を決め、職員間での情報の共有と支援に努めている。	入居契約時に重度化や終末期に向けた方針の確認及び説明を行っている。また、入居者様の状態に応じて、ご家族様、主治医との話し合いの場を設け、本人様並びにご家族様の希望される方針を決め、職員間での情報の共有と支援に努めている。	事業所の母体が病院であることから、医療機関との連携体制ができています。これまでに看取りの経験もあり、家族・本人の思いに沿った支援がなされている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応や初期対応等の知識の向上を図る為、外部研修会での訓練に参加すると共に、マニュアル整備を行うことで事故発生時に実践できるよう努めている。	急変時の対応や初期対応等の知識の向上を図る為、外部研修会での訓練に参加すると共に、マニュアル整備を行うことで事故発生時に実践できるよう努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月、自主防火チェックを行うと共に、年2回の防火訓練を行い予防に努めている。また、夜間想定訓練では地域住民の参加を呼びかけ、地域との協力体制作りを行っている。	毎月、自主防火チェックを行うと共に、年2回の防火訓練を行い予防に努めている。また、夜間想定訓練では地域住民の参加を呼びかけ、地域との協力体制作りを行っている。	年2回消防署の立会いと消防設備会社の立会いの下で、消火訓練や避難訓練等を行っている。ホームの2階は、比較的動ける入居者の居室となっているが、避難経路等についても留意されている。非常食の備蓄も整っている。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA（ （事業所記入欄）	自己評価／ユニットB（ （事業所記入欄）	外部評価 （評価機関記入欄）	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勉強会やカンファレンス等を通じて、入居者様個人の人格の尊厳について職員間で共通認識がもてるように努めると共に、日々のケアにおいて個人の誇りやプライバシーを損なわない言葉かけや対応に留意している。	勉強会やカンファレンス等を通じて、入居者様個人の人格の尊厳について職員間で共通認識がもてるように努めると共に、日々のケアにおいて個人の誇りやプライバシーを損なわない言葉かけや対応に留意している。	入居者を人生の先輩として敬い、言葉遣いや態度に気をつけ、誇りやプライバシーを損ねることの無い様心がけている。個人情報の管理もきちんと実施されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の会話の中で、入居者様個人の思いや希望を確認すると共に、入居者様各々が自己決定できる声かけ確認を行っている。	日々の会話の中で、入居者様個人の思いや希望を確認すると共に、入居者様各々が自己決定できる声かけ確認を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様の体調や意向に合わせ、散歩や買い物等の支援や個別ケアを大切にし、生きがいのある楽しい1日を過ごして頂けるよう支援している。	入居者様の体調や意向に合わせ、散歩や買い物等の支援や個別ケアを大切にし、生きがいのある楽しい1日を過ごして頂けるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望に応じて訪問理美容の方に来訪していただき、希望に沿った髪型(カット・カラー・パーマ等)に整えていただいている。また、行きつけの美容室がある方は、ご家族様と協働し、支援している。	希望に応じて訪問理美容の方に来訪していただき、希望に沿った髪型(カット・カラー・パーマ等)に整えていただいている。また、行きつけの美容室がある方は、ご家族様と協働し、支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の調理以外に毎月、「食事作り」のレク活動を計画・実施し、入居者様の持てる力を発揮できる機会を提供している。	毎日の調理以外に毎月、「食事作り」のレク活動を計画・実施し、入居者様の持てる力を発揮できる機会を提供している。	クックチルシステムを利用し食事を提供しているが、入居者の嗜好を聞き、毎月レクによる食事づくりやおやつ作り、パン食の日などを設けており、入居者の楽しみの一つになっている。職員も入居者と同じテーブルで食事を共にし、食事介助が必要な方は同じ目線で介助されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様1人ひとりの一日の食事量や水分量を記録し、摂取量の少ない方には、高カロリー栄養補助食品や各々の嗜好に合わせた捕食を提供している。	入居者様1人ひとりの一日の食事量や水分量を記録し、摂取量の少ない方には、高カロリー栄養補助食品や各々の嗜好に合わせた捕食を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後は必ず歯磨きの声かけ、口腔ケアを行い、口腔内の清潔が保てるように支援している。必要に応じて、訪問歯科の往診を依頼し、口腔内の状態確認及び口腔ケアの指導・助言等を行っていただいている。	毎食後は必ず歯磨きの声かけ、口腔ケアを行い、口腔内の清潔が保てるように支援している。必要に応じて、訪問歯科の往診を依頼し、口腔内の状態確認及び口腔ケアの指導・助言等を行っていただいている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、入居者様1人ひとりの排泄パターンの把握に努めている。また、入居者様各々に合った排泄方法を職員間で協議し、可能な限りトイレでの排泄が行えるよう、職員2人にて排泄介助を行う等の支援を行っている。	排泄チェック表を活用し、入居者様1人ひとりの排泄パターンの把握に努めている。また、入居者様各々に合った排泄方法を職員間で協議し、可能な限りトイレでの排泄が行えるよう、職員2人にて排泄介助を行う等の支援を行っている。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、個々に応じた排泄支援を行なっている。おむつを使用されている方も日中はトイレに誘導し、自立に向けた支援が行なわれている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方には、水分を多く摂っていただいたり、腹部マッサージを行う他、散歩や平行棒、足こぎ等を用いた運動支援を行っている。	便秘気味の方には、水分を多く摂っていただいたり、腹部マッサージを行う他、散歩や平行棒、足こぎ等を用いた運動支援を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	日中の大半の時間を入浴時間として、ゆっくりと入浴できるようにしている。入居者様の体調を見て入浴日を変更したり、午前中の入浴を断られた方には、午後からの入浴を勧めている。バスクリンを使用する等、入浴を楽しめる工夫も行っている。	日中の大半の時間を入浴時間として、ゆっくりと入浴できるようにしている。入居者様の体調を見て入浴日を変更したり、午前中の入浴を断られた方には、午後からの入浴を勧めている。バスクリンを使用する等、入浴を楽しめる工夫も行っている。	入浴は、基本的に週3回と決まっているが、入居者の希望に沿った入浴支援に努めている。時間帯は個人のペースに合わせ、拒否される場合は、無理強いせず、曜日を変えながら支援されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様各々の生活リズムを大切に、日中に休息時間を設けたり、室温・寝具調節を行い、安心して睡眠が取れるように支援している。	入居者様各々の生活リズムを大切に、日中に休息時間を設けたり、室温・寝具調節を行い、安心して睡眠が取れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様各々の薬剤情報等については事務所で管理すると共に、服薬されている内服薬の一覧表を作成し、全職員が確認できる体制を整備している。症状の変化があれば担当医へ連絡し相談を行っている。	入居者様各々の薬剤情報等については事務所で管理すると共に、服薬されている内服薬の一覧表を作成し、全職員が確認できる体制を整備している。症状の変化があれば担当医へ連絡し相談を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様各々の生活歴や力を活かした役割を日々の生活の中やレク活動等に活用し、気分転換が図れるように支援している。	入居者様各々の生活歴や力を活かした役割を日々の生活の中やレク活動等に活用し、気分転換が図れるように支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出希望以外にも天候が良い日には、施設近隣に散歩へ出かけたり、ご自宅への外出を希望された際には、ご家族様や主治医の協力のもと外出できる機会を作っている。	外出希望以外にも天候が良い日には、施設近隣に散歩へ出かけたり、ご自宅への外出を希望された際には、ご家族様や主治医の協力のもと外出できる機会を作っている。毎週1回、ご家族様の協力のもと外食へ出かけている方もいる。	事業所の敷地が広く、近くには神社もあり、天気がいい日は、朝からお参りや散歩に出かけている。またパンの日、おやつの日など行事食の前日は車椅子の方も一緒に買い物に出かけて、外出の機会を設けている。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理のできる方や希望者に関しては、ご家族様確認の上、所持していただき、買い物へ出かけた際には、購入したい物を購入されている。	自己管理のできる方や希望者に関しては、ご家族様確認の上、所持していただき、買い物へ出かけた際には、購入したい物を購入されている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望された際には、電話を取り次ぎ、電話でのやり取りができるように支援している。	電話を希望された際には、電話を取り次ぎ、電話でのやり取りができるように支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾り付けを入居者様と一緒に رفتたり、入居者様に生けていただいた生け花を飾ったりと居心地よく過ごせる空間作りに配慮している。	季節に応じた飾り付けを入居者様と一緒に رفتたり、入居者様に生けていただいた生け花を飾ったりと居心地よく過ごせる空間作りに配慮している。	リビングは広く、室温、換気ともに環境も整っている。各ユニットに季節を感じてもらえるような飾りつけがなされている。窓越しに置かれたソファでは、利用者がゆったりと寛いでいる。浴室、トイレ共にきれいに掃除され、不快な臭いもない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間にはソファを配置し、入居者様が思い思いに過ごせる環境に配慮している。	共用空間にはソファを配置し、入居者様が思い思いに過ごせる環境に配慮している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様と相談し、これまで使い慣れた家財道具を持ち込んでいただき、本人様が居心地よく過ごせる環境作りに配慮している。	ご家族様と相談し、これまで使い慣れた家財道具を持ち込んでいただき、本人様が居心地よく過ごせる環境作りに配慮している。	馴染みの品の持ち込みの制限はない。テレビや筆筒、自分で作った折り紙が飾られている。また、仏壇を持ち込まれている方もいる。落ち着いた過ごせる居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご家族様に確認、了解をいただいた上で、各居室にネームプレートを飾らせていただき、入居者様自らが各々の居室を理解することができるように配慮したり、建物内部には手すりを設置し安全且つ自立した生活が送れるように配慮している。	ご家族様に確認、了解をいただいた上で、各居室にネームプレートを飾らせていただき、入居者様自らが各々の居室を理解することができるように配慮したり、建物内部には手すりを設置し安全且つ自立した生活が送れるように配慮している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)		○	1. ほぼ全ての利用者の
		○		2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)			1. ほぼ全ての利用者が
		○	○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)			1. ほぼ全ての利用者が
		○	○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○		1. ほぼ全ての利用者が
			○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)			1. ほぼ全ての利用者が
		○	○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない